



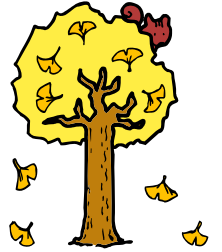
(仮称)さつき学園

人がつながる時がつながる
“つながる”学校づくり

ワークショップニュース

1

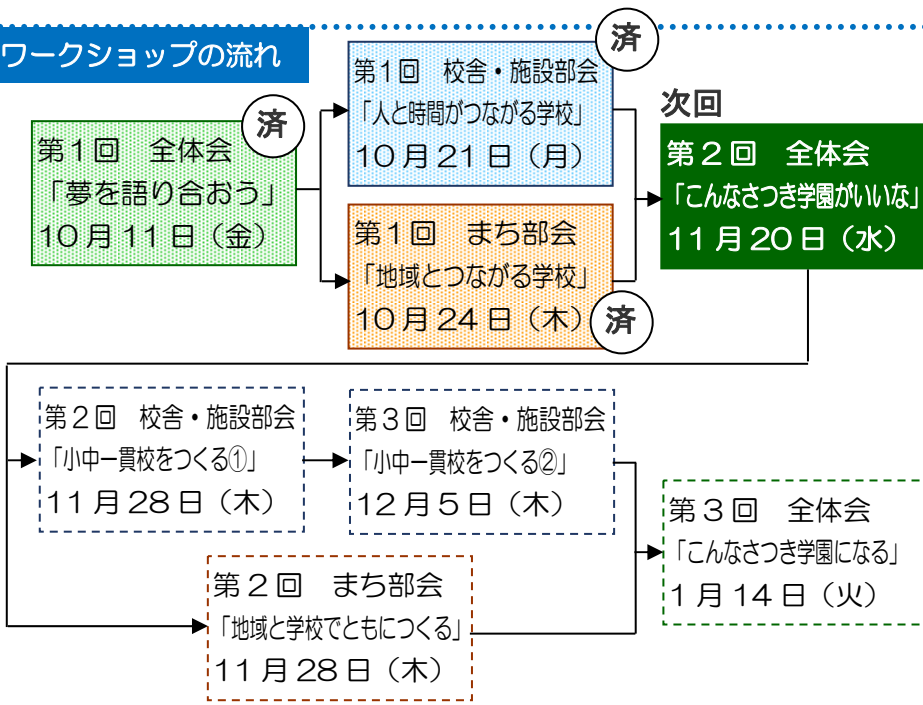
25年11月



守口市教育委員会では、小・中学校のより良い教育環境づくりを進めるため、学校規模の適正化や適正配置を進めており、滝井小学校、春日小学校と第三中学校についても、小中一貫校「(仮称)さつき学園」(平成28年4月開校予定)の整備計画づくりを進めているところです。

地域とつながり、これからのまちづくりの核となる、より良い学校づくりに向け、平成25年10月11日から地域・保護者・学校の方々と共に新しい学校のありかたを考えるワークショップを開催しています。

ワークショップの流れ



どんな学校に
なったら
いいだろう？

ワークショップは、より検討を深めるため、教室などのデザイン等について検討する「校舎・施設部会」と地域と学校との連携について検討する「まち部会」に分かれて検討し、「全体会」で内容を共有していきます。

これまでに開催したワークショップはこんな内容でした！

第1回 全体会(10/11)



地域の人や教職員も一緒に学校づくりへの期待や心配について話し合い、さつき学園への夢を語り合いました。

地域も学校もみんなで学校づくり

第1回 校舎・施設部会(10/21)



教職員の方を中心に、どのような校舎・施設にすれば「人も時間もつながるさつき学園」になるか考えました。

安全・安心は基本！

第1回 まち部会(10/24)



地域で使えるところはたくさんあるね

地域の人を中心に、地域と学校が一緒になってできるか、地域がどう学校を活用していくかを考えました。

気になる結果は次ページから！

つながる (仮称) さつき学園の考え方

こんな (仮称) さつき学園になったらいいな!

安全・安心に過ごせる

- 地域と学校で安全確保に取り組む
- 地域の人が見守る
- 死角がない学校
- バリアフリーな学校
- エレベーターやスロープがある
- 防犯カメラや警報ベルがついている

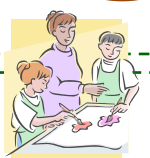
世界一安全な学校に!



人がつながる

- 小・中・夜間・地域のみなが話し合い、知恵と工夫で使いやすくしていく、全員参加型の学校
- 小・中・夜間・地域が情報を共有し、それぞれの役割を果たす
- 地域の人が憩い、いろいろな地域イベントに使える
- 地域の人から教わる場所になる
- あいさつをし、お互いを知る

盆踊りし放題



みんなの居場所になる

- 誰もが居場所がある学校
- 子どもも大人も笑顔があふれ、喜んでいける、行くのが楽しい学校
- 運営面で細かな気配りをして、居心地の良い環境をつくる
- 部活がのびのびできて、遊ぶところがある

自然・緑と親しめる

- 自然との共存ができ、自然を大切にする
- 自然観察ができる
- 緑が豊かで、土・小山・芝生や立派な庭園がある
- 落ち着いて人・緑と接し、ほっとできる



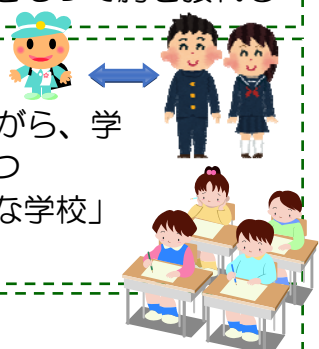
子どもの成長を支える

- 人も建物も、心も体も育つ
- 子どもがいろいろな人との交流で他人への関心や思いやりが生まれ、やさしい子が育つ
- お互いに認め合える、尊重できる
- 社会に出る力を身につけられる
- 自分のよさを伸ばせる
- 誇りに思える。自身をもって胸を張れる



時がつながる

- 9年間がつながりながら、学年ごとの独立性も保つ
- 100年後にも「新鮮な学校」でありつづける



教育環境が充実する

- ひとりひとりの学びが大切にされる
- いろいろな学べ、文化・芸術にもふれあえる
- 人の考えを聞き、ゆっくりじっくり学べる
- 世代を超えた学習ができる
- 最先端の教育が受けられ、新しいことに取り組む
- 静かな部屋とオープンスペースがあり、静と動のメリハリがある
- プールが通年で使える



教育にもっと力を入れよう

最新の設備が充実している

- 太陽光発電を導入する
- トイレがきれい
- スイッチをセンサー式にする
- 有料の地下駐車場などで収益をあげる



その他

- 防災拠点になる



学校と地域と親と子ども、全員参加型で学校づくりをすすめよう

こんな風に地域と学校をつなげよう

地域+学校+親が連携する

- 地域とPTAが学習支援をしたり、伝統文化を伝える

境界の塀はない方がよい

- 各階をつなぐ地域の方の動線やPTAの部屋がある
- 地域と親が子どもの見守りの目になる

心配なこと

PTAに参加してもらわないといけない

グラウンドの利活用や校庭開放

- 校庭開放を継続する

- 観覧席にもなる自然な小山などの工夫がある



どこまで地域に開放できる?

部活との調整や地域間での調整が必要

地域間での調整が必要

今の備品は全部いる?

公民館祭や地域イベントに使う

- 公民館祭や盆踊りを開催する

- 公民館祭や地域イベントで使いやすいアリーナにする

- 地域が使える倉庫を設置する

- ここにすれば地域のことがわかるようにする

- 行事がなくても集える場にする

- 鍵の管理をしやすくする

滝井からお年寄りか来るには遠いかな

さんあい広場の利活用

- 放課後に文化活動をしたり、大人の技や知恵を子どもに教える

授業サポーターになる

- ランチルームで地域の人と一緒に食事をしたり、調理実習をする

郷土料理などもつくる

- 子どもがパソコンを地域の人に教える

音楽室は防音性ある?

- 映画鑑賞会を行う

- 地域のコミュニティー拠点にする

さんあい広場で食べる

さつき学園ならではの運営方法を考えよう

特別教室の利活用

- 図書室や音楽室などを地域の人に開放し、地域ボランティアやサークルなどが使う



読み聞かせなどをする

- 地域のコミュニティ拠点にする
- PTAが調理して食育に使う
- 門真では保育所と商店街と連携している



こんな風につながる学校にしよう

こんな校舎・施設にしよう

教室等の大きさ・数・配置

- 夜間学級の教室を普通教室と同じ広さにする
- 特別教室や保健室、プールは小中が使い分けられるようにする

死角をなくす

- 中学生は各学年の階を分ける
- 教室はある程度クローズにする
- 進路指導室を上階にも配置する
- 低学年用のトイレは多めにする
- 調理室とランチルームを近くする
- 部室を校舎の近くにする

心配なこと

オープン教室は落ち着かないのでは

5~7年が一緒はしんどい?

子どもが増えたらどうするの?

みんな入れる?

教室と同じ階が良い

上からものが落ちてくる

ポケットパークがたまり場になる

職員室

- 子どもが見えやすい場所にする

- 教師ステーションを各階に配置する

吹き抜け

- 小さくするか、なくして、ほかの教室等にする

地域と学校が連絡を取りあえる掲示板をおく

地域との連携

- 地域の方が利用するところは出入りしやすいところにまとめる
- あおぞら菜園は校門付近の使いやすい、管理しやすいところにする

設備

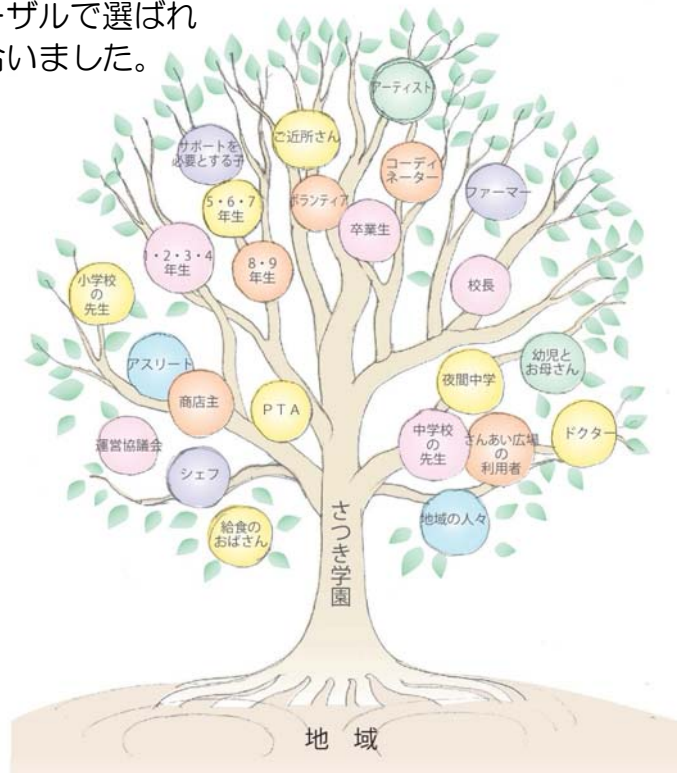
- プールの屋根に太陽光発電をつける
- 教室に棚やロッカー、手洗いをつける
- 倉庫を多くする
- 保健室にシャワーとトイレをつける
- 資源活用拠点にする

ワークショップでは、8月に行われたプロポーザルで選ばれた案を修正した計画案をたたき台として話し合いました。

基本的な考え方

- 一. 世界中で一つしかない「さつき学園」
- 二. 楽しい学校が楽しいまちをつくる
- 三. 集う人々、全ての縁が連なり
それぞれの花を咲かせる学校づくり

- 学びをつなげる
重なりつながら9年間の学び
- 人がつながる
垂直展開するメディア・特別教室
- 地域とつながる
階をまたいでつながる
地域と学校の新しい関係



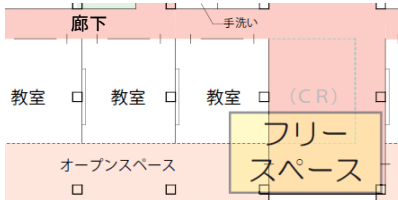
計画案の概要

3階 小学生と中学生がつながりまじりあう場

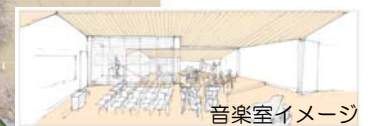
主な部屋等
5～7年生教室、メディアセンター
中学校特別支援教室

5階 地域交流と食育の拠点

主な部屋等
プール、あおぞら菜園
ミュージックラブリ、音楽室
テニスコート



教室はオープンスペースと一体的に使えるオープン型とします



2階 小さい子どもたちの「おうち」

主な部屋等
1～4年生教室
小学校特別支援教室
メディアコーナー
大アリーナ（大ステージ）



1階 地域が子どもを見守る、人の交流拠点

主な部屋等
夜間中学、職員室、小アリーナ、児童クラブ
ランチルーム、地域支援室
さんあい広場、エントランス広場、ポケットパーク
グラウンド、遊歩道、自然観察園（保存樹）

4階 自立への準備の場

主な部屋等
8年、9年生
教科メディアコーナー
他特別教室

【問い合わせ】 守口市教育委員会事務局 学校規模適正化 PT（担当 西村）